

(様式1)

# 個別施策評価調書

主管部	教育局	
関係部		

基本施策	1-2 教育日本一を目指し教育内容を充実する
個別施策	① 小中一貫教育の充実
個別施策の方向	広い視野を持って自ら学び、自ら考え、判断して行動できるグローバルな人材育成のため、幼・保・小連携、小中一貫教育をとおり、「生きる力」＝知・徳・体のバランスのとれた力を育成する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	10,686	人件費	23,648	事業コスト	34,334			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	8,740	人件費	23,580	事業コスト	32,320			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H29年度	決算	事業費	10,196	人件費	22,681	事業コスト	32,877			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H30年度	決算	事業費	14,848	人件費	29,298	事業コスト	44,146			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	34.1%	39.0%	4.9%
12) 小中一貫教育の充実			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	小中学校での教育を連携させていくという観点や、教育方針の一貫性、あるいは教育内容の連続性について、評価、検証を行った上で、小中一貫教育の方向性を検討されたい。	

<b>施策の 取組概要</b>	<p>子どもの成長の連続性及び中1ギャップの解消等を目的として、小中一貫教育の充実を図る。</p> <p>市独自の教科であるつくばスタイル科の充実を図るため、単元プラン集を作成、発行するとともに、ICTの活用が円滑なものとなるように、各校へICT指導員を派遣し、助言を行う。</p> <p>教育委員会の取組や成果、市立の幼稚園及び小中学校における教育活動等に関する情報発信のため、広報紙「つくばの学び舎」を発行する。</p> <p>幼稚園及び保育所から小学校への就学の充実に向けて、児童等の交流事業のほか、教師の合同研修等を実施する。</p>
<b>施策の 成果</b>	<p>単元プランの見直しを行うことにより、学習内容の洗練を図ることができた。</p> <p>各校に派遣したICT指導員のサポートにより、つくばスタイル科の学習におけるICT機器の活用の円滑化が図れ、より充実した学習内容に繋がった。</p> <p>教育活動等の情報発信により、教育への理解が深まり、より良い教育環境がつけられた。</p> <p>幼保小の連携により、幼稚園児・保育所児童と小学生との交流につながった。</p>
<b>課題と 改善目標</b>	<p>「つくばスタイル科」に関しては、学習指導要領の改訂に伴い、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」ということも重視して授業の改善を行う。</p>

<b>自己評価（所管部署評価）</b>		
<b>自己評価</b>	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。